

【応募上の注意】

- (1) 作品の搬入を委託する場合は、作品や応募票に不備がないかどうか、事前に確認してください。不備があり受付できなかった際のトラブル等について、主催者は責任を負いません。
- (2) 応募作品は十分注意して取り扱いますが、災害やその他やむを得ない事情のもとに生じた損害等については、主催者は責任を負いません。
- (3) 入選作品を展覧会期中に搬出することはできません。
- (4) 著作権は応募作品の制作者に帰属しますが、主催者は、本展覧会に関する事項に限り、入選作品の画像を自由に使用できるものとします。
- (5) 提供された個人情報は主催者が管理し、本展覧会の運営以外の目的では使用しません。
- (6) 佐久平の美術展は、展覧会場や展示作品の撮影及びSNS等での発信を推奨します。展示作品（審査員の作品は除く）の撮影を可能としますが、ご自身の作品の来館者による撮影を承諾できない場合には、応募票の写真撮影不可の欄に☑をしてください。
- (7) 著作権・肖像権を侵害する恐れのある作品は展示できない可能性があります。

【搬入出経路図】



左の「経路図」のとおり進入し、
一方通行を厳守してください。
速度制限：10 km/h

※12月6日(土)・7日(日)は、開館日のため、他の来館者の妨げにならないよう、注意して搬入してください。

※指定の時間内のみ公園内に車両進入可能としますが、歩行者を優先し、十分注意して走行してください。万一事故が発生しても主催者はその責任を負いません。

【出品Q&A】

Q 額縁(額装)が必要なのはなぜですか？(平面部門)

A 公募展では審査や展示の過程で、頻繁に作品を移動します。その際に画面が傷つくのを防ぐために額縁(額装)が必要です。
額縁(額装)には作品を引き立てるだけでなく、ご自身や他の方の作品を守る役割もあります。

Q 最小寸法規定があるのはなぜですか？(平面部門)

A 「佐久平の美術展」の最小寸法である20号(額装)または10号(マット装)は、絵を描き始めたばかりの方にとっては、ハードルが高いと感じる大きさかもしれません。一方で最大寸法は100号相当(長辺162.1cm)です。展示会場で並んだ様子を想像してみるとどうでしょうか。
最小寸法は、最大寸法の作品と並んでも、印象に決定的な差がつかない大きさの下限であると考えて設定しています。
最小寸法より小さな作品しか描いたことのない方は、ぜひ「佐久平の美術展」をきっかけに、普段よりも大きな作品にチャレンジしてみてください。

Q 「作品に対するコメント」には、どんなことを書けば良いですか？

A 「佐久平の美術展」では、応募者全員に審査員1名からの講評文が届きます。「作品に対するコメント」は講評の際に参考にすることがあります。作品にかける思いや、注目してほしいポイントなどを自由にお書きください。
なお「作品に対するコメント」の内容は、審査結果には影響しません。

事務局
問い合わせ

佐久市立近代美術館

〒385-0011 佐久市猿久保35-5
TEL：0267-67-1055 / FAX：0267-67-1068
e-mail：s-kinbi@city.saku.nagano.jp



令和7年度 第40回 佐久平の美術展

作品募集

●平面部門(絵画) ●立体造形部門(彫刻・工芸 等)



昨年度最優秀賞 鷹野秀樹《玄冬》

出品者全員に審査員からの講評文が届きます。

「作品鑑賞会」では、審査員からの講評を直接聴くことができます。どなたでもご参加いただけます。

応募作品搬入(当日受付・申込)

令和7年12月6日(土)・7日(日)
●各日午前10時～12時、午後1時～午後5時

展覧会(入賞・入選作品による)

令和8年1月4日(日)～1月25日(日)
●午前9時30分～午後5時(1月25日は午後4時30分まで)

審査員

内田あぐり(日本画家)・近藤昌美(画家)
瀧本光國(彫刻家)

授賞式、作品鑑賞会①(受賞作品を中心に)

令和8年1月10日(土)
●午後2時～ ●講師：近藤昌美(審査長)

作品鑑賞会②(入選作品を中心に)

令和8年1月18日(日)
●午後2時～ ●講師：内田あぐり(審査員)



作品鑑賞会の様子(令和6年度)

主催：佐久市・佐久市教育委員会
後援：佐久ケーブルテレビ・エフエム佐久平・佐久市民新聞・佐久市立近代美術館友の会
主管：令和7年度第40回佐久平の美術展実行委員会

